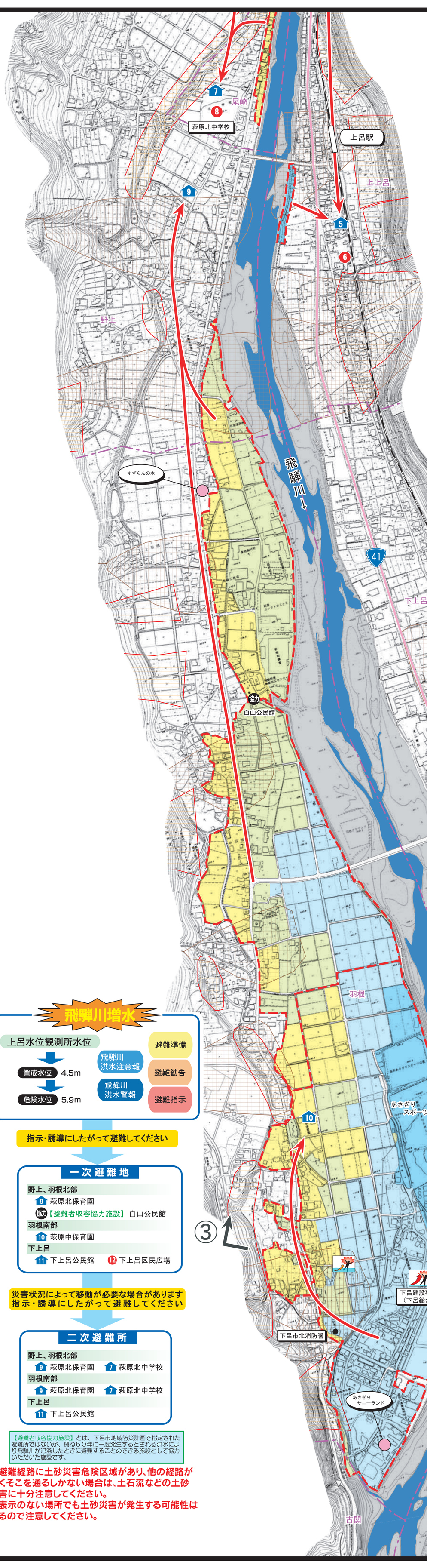
飛騨川洪水ハザードマップ③

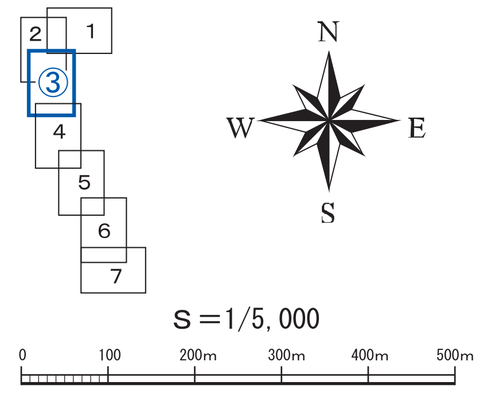
下上呂・野上・羽根

この図は、概ね５０年に一度発生するとされる洪水（下呂大橋付近で１秒間に４,８００㎥ の水が流れると想定した洪水）により飛騨川が氾濫した場合、浸水の広がる範囲・深さをシュミレーションした「浸水想定区域図」に避難場所などを記載した、安全な避難行動をとるために必要な地図です。

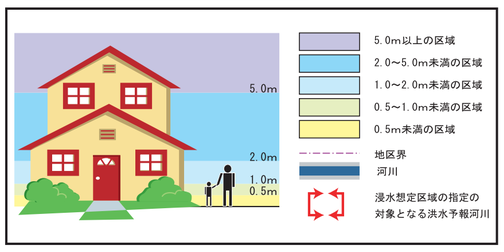
なお、山之口川などの支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫、土石流や流木の影響による被害などは考慮していませんので、表示のない地域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

（浸水想定区域図は、岐阜県下呂建設事務所が平成１５年９月に作成したものを基礎資料としています。）





浸水の深さと色分け



凡　例

00	収容施設のない避難場所		土石流危険渓流
00	収容施設のある避難所		土石流危険区域
協力	避難者収容協力施設		急傾斜地崩壊危険箇所
	避難する方向		急傾斜地崩壊危険区域
	避難が必要になる区域		過去の水害の浸水区域
	災害時要援護者利用施設		避難時危険箇所（アンダーパス）
△	水位観測所		避難時危険箇所（飛騨川以外で水害の起きやすい場所）

わが家の防災メモ

災害時の連絡先	
その他の連絡先	

家族・親戚の連絡先

家族の名前	血液型	携帯電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先
	型			
	型			
	型			
	型			
	型			
	型			
	型			
	型			

警察署

下呂警察署	52−0110
下呂温泉交番	25−2002

消防署

中消防署	25−5119
北消防署	52−3519

病　院

県立下呂温泉病院	25−2820
名鉄下呂病院（夜　間）	25−3071 25−2185
かかりつけの病院（　　）	

ライフライン

NTT西日本（携帯電話・PHSから）	113 0120−444−113
中部電力 萩原サービスステーション	52−1044
下呂市上下水道部	24−2222

災害伝言ダイヤル

NTT西日本　http://www.ntt-west.co.jp/dengon/index.html

伝言を入れたいとき　171 ▸▸ 1 ▸▸ 0576 ▸▸ □□ □□□□□

（※1）伝言保存が必要です　（※2）市外局番から必要です　（※3）自宅の電話番号を入力します

伝言を聞きたいとき　171 ▸▸ 2 ▸▸ 0576 ▸▸ □□ □□□□□

（※1）伝言保存が必要です　（※2）市外局番から必要です　（※3）自宅の電話番号を入力します

避難場所一覧

あなたの地区の避難場所

避難区域対象地区	避難所番号	避難場所名	所在地	電話番号	バリアフリーの状況
野上 羽根北部	9	萩原北保育園	下呂市野上880−1	55−0322	○
	協力	【避難者収容協力施設】 白山公民館			
羽根南部	10	萩原中保育園	下呂市羽根1630	52−1601	
下上呂	11	下上呂公民館	下呂市上呂2322−1	55−0804	
	12	下上呂区民広場	下呂市上呂1854−1	—	

その他の地区の避難場所

避難区域対象地区	避難所番号	避難場所名	所在地	電話番号	バリアフリーの状況
上上呂	5	上上呂公民館	下呂市上呂668	55−0451	○
	6	上上呂区民広場	下呂市上呂526−8	—	
尾崎	7	萩原北中学校	下呂市尾崎61	55−0070	
	8	萩原北中学校グラウンド	下呂市尾崎61	—	

わが家の避難地図

冊子の手順を参考に作成した避難地図を貼っておきましょう。

飛騨川増水

上呂水位観測所水位

警戒水位 4.5m　→　飛騨川 洪水注意報　→　避難準備

危険水位 5.9m　→　飛騨川 洪水警報　→　避難勧告　→　避難指示

指示・誘導にしたがって避難してください

一次避難地

野上、羽根北部
- 9 萩原北保育園
- 協力【避難者収容協力施設】 白山公民館

羽根南部
- 10 萩原中保育園

下上呂
- 11 下上呂公民館　12 下上呂区民広場

災害状況によって移動が必要な場合があります
指示・誘導にしたがって避難してください

二次避難所

野上、羽根北部
- 9 萩原北保育園　7 萩原北中学校

羽根南部
- 9 萩原北保育園　7 萩原北中学校

下上呂
- 11 下上呂公民館

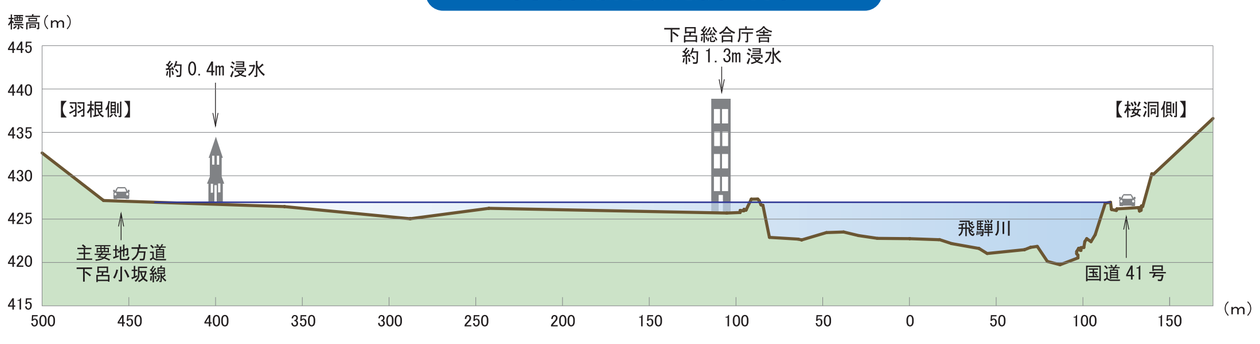
【避難者収容協力施設】とは、下呂市地域防災計画で指定された避難所ではないが、概ね５０年に一度発生するとされる洪水により飛騨川が氾濫したときに避難することのできる施設として協力いただいた施設です。

避難経路に土砂災害危険区域があり、他の経路がなくそこを通るしかない場合は、土石流などの土砂災害に十分注意してください。

表示のない場所でも土砂災害が発生する可能性はあるので注意してください。

氾濫流の水深・流速と避難のしやすさ

流れの速さ　（図面の記号）	浸水後の避難の危険性と目安
0.5 m/秒以下	水深が腰以上（1.0m以上）になると流される危険性が高まります
0.5 m/秒 ～ 1.5m/秒	水深がひざ以上（0.5m以上）になると流される危険性が高まります
1.5 m/秒以上	どんなに浅くても流される可能性があるため避難は危険です

飛騨川③－③断面浸水イメージ

（河川下流から見た形状です）